※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　環境科学科

教科	環境科学	科目	環境科学Ⅱ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	生基 704「高校生物基礎」（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

環境科学Ⅱでは、環境問題に深く取り組み、持続可能な未来を築くための知識とスキルを身につけます。生態系や環境保全を超え、国際的な視野で取り組み、実践的なプロジェクトを通じて解決策を探ります。自然と調和しながら、個人や社会が取るべき行動を考え、地球環境に対する影響を考えましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生態系の維持メカニズムや人間との相互関係を理解し、基本的な概念、原理、法則に深く踏み込む。
【思考力、判断力、表現力等】
科学的な探究方法を身につけ、自身の考えを適切に他者に伝えるスキルを発展させる。
【学びに向かう力、人間性等】
自然環境と生物多様性が人間に密接に関係していることを理解し、環境保全と修復への積極的な取り組みを促進する態度や価値観を醸成する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	日常生活や社会の現象を通じて、生態系や環境に関する観察や実験を実施し、基本操作を習得する。その過程や結果を的確に記録・整理し、科学的な探究を行うための基本的な技能を身につける。また、生態系のメカニズムや人間との関わりについての基本的な概念や法則を理解し、知識を深める。	生態系や環境に関する探究の過程を通じて、問題の発見や解決に向けた観察、情報収集、仮説設定、データ分析・解釈、推論などの方法を習得する。また、科学的な考察を行い、結果を適切に表現するためにレポート作成や発表を通じて、思考力や表現力を発展させる。	環境科学Ⅱでは、生態系や環境に積極的に関与し、課題解決に向けた取り組みを行う意欲的な態度が醸成される。特に、生態系と気候の関係や人間活動との関連性を常に意識し、自然環境の保全に貢献する態度や科学的な思考が身に付けられる

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	生物の多様性と生態系	生態系の多様性と構造 植生の動態とその変化 植生遷移と土壌の相互作用 植生遷移のメカニズム	a: 様々な地域における植生の多様性とその形成要因を理解し、植生の遷移についての知識を有する。（定期試験） インターネットや文献などを活用して、環境調査やデータ収集方法を習得している。（課題提出） b: 植生の遷移が光環境や土壌の変化によってどのように進行するかについて理解し、その説明ができる。（定期試験・発問評価・課題提出） c: 植生の変化要因を資料に基づいて分析し、その影響を理解しようとする姿勢があり、的確に表現できる。（発問評価・授業態度）	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容（メモ書き等） ・提出物
2学期		植生と生物群系 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	a: 地球上に存在するさまざまなバイオームの形成要因やその特徴を理解し、生態系内の種の多様性と相互関係について理解する。（定期試験） インターネットや文献などを活用して、環境調査やデータ収集方法を習得している。（課題提出） b: 生態系の保全の重要性を生物多様性の観点から考察し、適切に表現することができる。（定期試験・発問評価・課題提出） c: 資料を分析し、バイオームの変化要因とその影響を理解しようとする姿勢があり、生態系のバランスと保全の重要性を正確に把握している。（発問評価・授業態度）	小テスト、定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内の発問、定期考査において資料の読み取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記入内容（メモ書き等） ・提出物
3学期	生態系の保全と人間社会	人間活動と生態系相互作用	a: 人間の活動が生態系に及ぼす影響を理解し、生態系から得られる利益や生態系保全の国際的取り組みについて理解している。（定期試験） b: 世界の環境問題に関する情報を収	小テスト、定期考査において授業で得た知識が	授業内の発問、定期考査において資料の読み	・授業に関する質問、発言 ・ノート、プリントの記

※令和４年度以降入学生用

		生態系サービスと持続可能性 生態系の保全と国際的な取り組み	集し、自身の考えを整理し表現できる能力を持つ。また、生態系の喪失が人間社会に及ぼす影響について考察できる。（定期試験・発問評価・課題提出） c: 人間活動が環境に与える影響やそれが生物の絶滅や生態系の破壊とどのように関連するかを理解し、それを防ぐために必要な活動を考えることができる。（発問評価・授業態度）	定着しているか。	取りや考察を行い、自分の意見や考えを発表・表現できるか。	入内容（メモ書き等） ・提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度